



76

みよで公園 こうえん

滋賀県信楽町大字長野

信楽町は、滋賀県の最南端、標高 300 メートル前後の高原地帯に位置し、町内を大戸川や信楽川が貫流する緑多い清澄な街である。本町は、信楽焼と朝宮茶という二大地場産業を有し、国際工芸都市として全国に名を知られている。〔文化・観光〕紫香楽宮跡、玉桂寺、飯道山、信楽陶器まつり（7月第4金曜日から3日間）、日雲神社太鼓おどり（9月4日）



信楽町では特産である信楽焼を素材として活用し、景観に配慮した「焼きものを生かした町づくり」をすすめている。

「みよで公園」はその一環として取り組んだものであり、町水道の敷地の一部を活用し、信楽川が近接していることから親水性のあるポケットパークとした。そして柱および床にはタイル舗装し、フジの木を配したパーゴラを中心に多目的の広場を設け、周囲には四季の花を配した。

路面には地元小学生の絵付けによる路面誘導タイルを配したり、信楽川の護岸には親水性を配慮し川への進入階段が設置してある。

住民が気軽に立ち寄れるいこいの広場として、また人々が交流できるコミュニティの場として親しまれている。